飛騨市洪水ハザードマップ ［ 宮川（河合町・宮川町） ］

「測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 4JHs 579」

このハザードマップは、大雨によって河川が増水し、氾濫した場合の浸水想定区域に基づき作成したものです。浸水想定は、概ね50年に1回程度起こる洪水により氾濫した場合を想定したものです。

該当川以外の小河川や水路などからの浸水は考慮されていませんので、想定が示されていない場所でも浸水する場合があります。過去の浸水についても確認するなどあらかじめ避難について考えておきましょう。

洪水浸水想定区域（区域、水深）とは

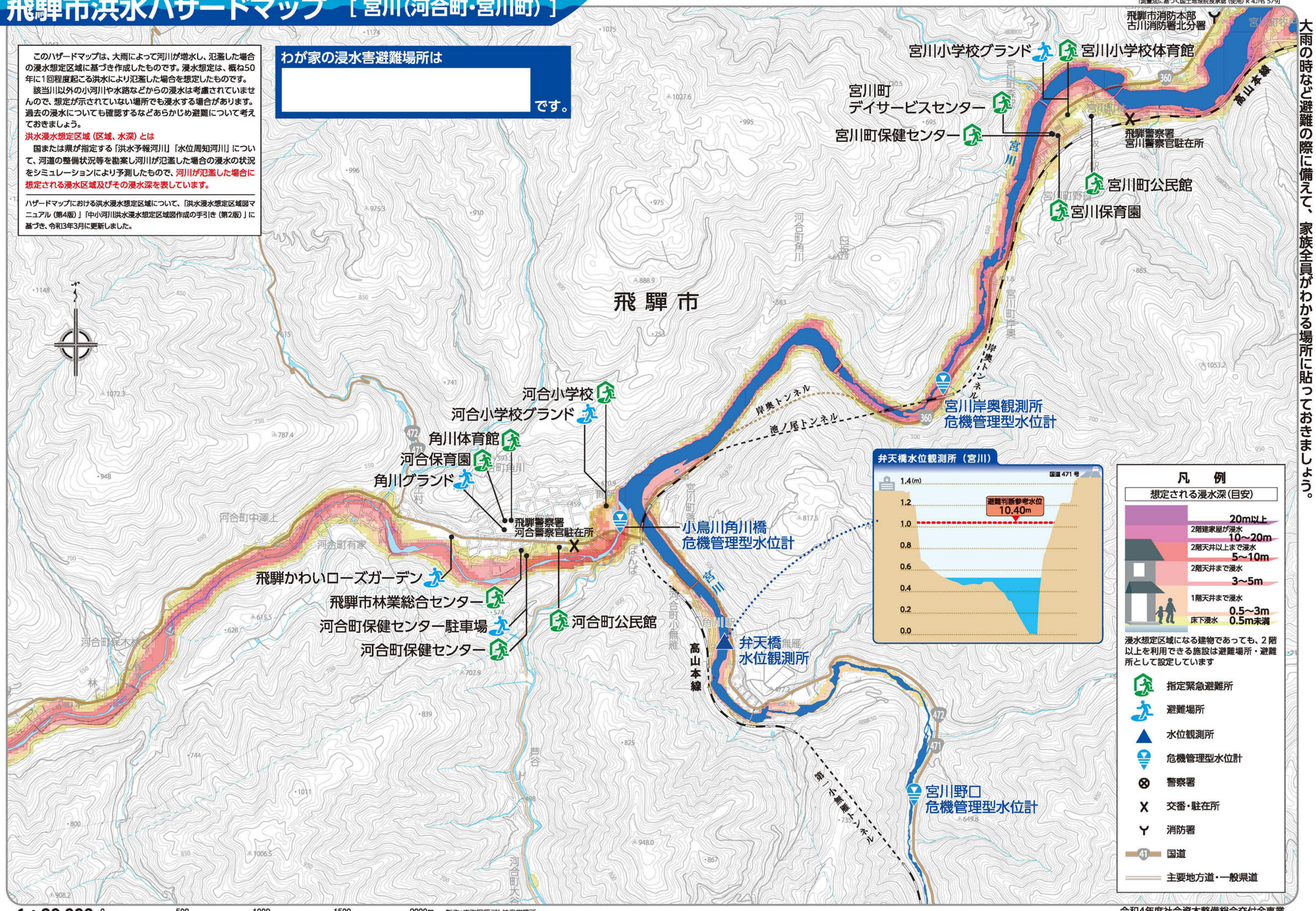
国または県が指定する「洪水予報河川」「水位周知河川」について、河道の整備状況等を勘案し河川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより予測したもので、**河川が氾濫した場合に想定される浸水区域及びその浸水深を表しています。**

ハザードマップにおける洪水浸水想定区域について、「洪水浸水想定区域図マニュアル（第4版）」「中小河川洪水浸水想定区域図作成の手引き（第2版）」に基づき、令和3年3月に更新しました。

わが家の浸水害避難場所は

［　　］です。

大雨の時など避難の際に備えて、家族全員がわかる場所に貼っておきましょう。



1：20,000　0　500　1000　1500　2000m

制作：東海図版(株) 岐阜営業所

令和4年度社会資本整備総合交付金事業